

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成29年度採択）

中間評価（案）（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
29-5	交通事故リスクマネジメント手法の研究開発	愛媛大学 教授 吉井 稔雄	A
<p><研究の概要></p> <p>ネットワーク有効活用による安全性向上を目的とし、道路通行時における事故の起こしやすさ(以下「交通事故リスク」)を定量的に評価算定する方法を確立した後、同交通事故リスク情報を活用する交通マネジメント手法を提案・実施して、その有効性を示す。</p> <p><中間評価結果></p> <p>交通事故リスク情報提供システムを構築し、複数の都市圏で情報提供実験を進めて成果をあげており、今後の研究の見通しにおいても概ね成果が期待できることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">ナビゲーション以外の情報媒体を介した情報提供の際に、交通事故リスクをどのように提示するか、認知バイアスの可能性がある中でどのようにして望ましい経路選択に導いていくのかに十分留意して、検討を進めることが望ましい。生活道路の交通事故リスク評価手法の高度化に際して、引き続きメッシュ単位の交通事故リスクを用いるのが適切かなど、手法の有用性と限界に十分留意して、具体的検討を進めることが望ましい。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第36回新道路技術会議において審議したものである。